



南アの里

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

令和6年7月18日発行

文責：校長 横山啓二

1学期ものこりわずか

人権について考えた「人権の花運動」

5月27日（月）に、山梨県人権擁護委員連合会より人権擁護委員の方に来校いただき、「人権教室」及び「人権の花贈呈式」を行いました。



初めに4年生から6年生までの各教室で、人権擁護委員の方から「人権」について授業をしていただきました。「人権」とは「世界中のだれでも、人は生まれたときから幸せに生きる権利がある」というお話から始まり、身の回りに起こりうるエピソードから、人権を大切にする方法等について学習しました。

その後体育館で「人権の花 贈呈式」を行いました。児童代表が、「育てよう 優しい心と思いやり」の標語が書かれた看板と、ペチュニアやマリーゴールドの花の入ったプランターをいただきました。お礼の言葉として、児童会長さんが「百田小学校を誰もが楽しく全員が自分らしく生活できるような学校にしていきたいです」と宣言してくれました。



この日は天候が悪かったため、6月3日（月）に「バルーンリリース」



を行いました。児童が人権について決意や願いを書いたメッセージと花の種を添えた風船を大空に飛ばしました。カラフルな風船がメッセージとともに大空に舞い上がっていきました。小さくなる風船を見送りながら、改めて「人権」や「幸せ」について考えることができました。



※この「バルーンリリース」の1週間後、

学校に1通の手紙が届きました。封筒の裏にあった住所は埼玉県でした。手紙は、「81歳になる御主人が『今日は令和6年6月6日で縁起がいい日だ!』と自宅に帰ってきて、『山梨の小学校の子どもが飛ばしたらしい風船が畑にあったのだよ』と始まっていました。メッセージカードには6年児童の名前があり、「いじめや差別をなくして、だれとでも仲良くしよう」とあったこと、とてもしっかりした字で上手に書けていたこと、本校のホームページから学校の様子をととても身近に感じてくれたこと等、心温まる内容でした。住所を地図で調べてみると学校から北東側に直線距離にして、100 kmほどのところでした。風船は3日間で100 km離れたところにメッセージと花の種を運んでくれました。

「世界中のだれでも幸せに生きる」ことができる世の中にするためにまずは身近にいる人を思いやることから始めていけたらと思います。

小中一貫校としての取組「小中合同あいさつ運動」

7月2日(火)の朝、白根御勅使中学校区小中一貫教育の取組の一つである「小中合同あいさつ運動」を行いました。今年度は、7月・10月・1月の3回を予定しています。今回は白根御勅使中学校から本校出身3年生の生徒会執行部など12名の生徒さんが来てくれました。本校からは児童会本部を中心に6年生と一緒に立ち、登校してくる児童の皆さんに明るく大きな「おはようございます」の声をかけてくれました。いつも以上に気持ちのよいあいさつが交わされる朝でした。



児童と生徒をつなげる活動としての交流活動は、特別支援交流会・合唱交流・文化作品交流等を計画しています。また、教職員同士の交流も行っています。1学期は御勅使中学校・百田小学校・源小学校の3校がそれぞれ参観日を設けて、小中相互授業参観を行いました。9年間での一貫性のある授業づくりを目指して意見交換を行ったり、児童生徒の情報共有を行ったりしています。

様々な取組を通して、3校の児童・生徒・教職員が交流し互いの学校の様子を理解し合うことで、「ふるさとを愛し、生きる力を備えた児童生徒の育成」(白根御勅使中学校区小中学校教育目標)を目指した教育活動を展開していきます。

暮らしを支える働きについての学習「社会科見学」

3年生から始まる社会科の学習ですが、自分たちが住む市区町村の成り立ちや地理、産業について学びます。さらに、電気や水道などの公共サービスのしくみ、都道府県の名義や位置、特色について学びます。

3年生は6月21日(金)にオギノ八田店に見学に行ってきました。「店でたらく人と仕事」の学習で、買い物調べから出された疑問を解決するために、実際に働く人の様子やお店の裏側の施設等を見学したり、お店の人の話を聴いたりしました。消費者の願いに応えるために、お店の人たちがどんな工夫をしているのか詳しく学習することができました。



4年生は「健康なくらしとまちづくり」の学習の一つとして、7月4日(木)に「駒場浄水場」と「中巨摩地区清掃センター」を見学しました。毎日の生活から出てくるごみがどのように処理されているのか、また、毎日使用している水(手洗い・炊事・洗濯・お風呂・トイレ等々)がどのようにして供給されているのか、これまで学習してきた内容を実際に見て確かめたり、新たに出てきた疑問を解決したりしてきました。



自分たちの暮らしを支えている仕組みや人々の取組について学習することで、自分たちがどんなことに気を付けて生活をしていったらよいのか、選択・判断する力が育ってくれたらと思います。また、働く人たちは皆、暮らしている人々の安心・安全、願いを考えながら仕事をしていることに対して、敬意を払うとともに、地域社会に対する誇りと愛情、そして地域社会の一員としての自覚をもってほしいと思います。そして、改めて自分たちの生活を振り返ってほしいと思います。



7月23日から夏休みが始まります

7月22日に1学期の終業式を行います。今学期72日間の教育活動が無事実施できるのも、保護者や地域住民の皆様の御理解と御協力があったからだと感じています。ありがとうございました。

今年の夏休みは8月29日までの38日間です。子ども達にとって笑顔いっぱい、楽しい思い出いっぱいの休みになってほしいと願っています。そして、8月30日(金)の2学期始業式には、また元気に登校してきてほしいと思います。